



さんびき

Sample

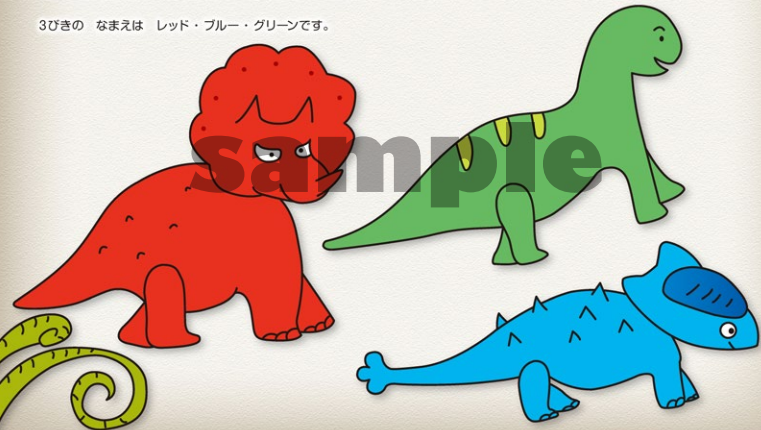


きょうりゅう

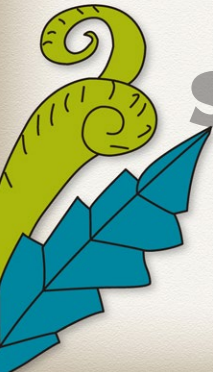
sample

ここは そうしょく きょうりゅうの なわぼりです。ちかくには きれいな みずうみや
あまやどりをする どうくつ あぶない がけが あります。
もっとさきには おおきな もりが みえますが まだ だれも いったことが ありません。
きょうりゅうたちは なわぼりを ひろげるために 3びきの こどもきょうりゅうを たびに だすことにしました。
こどもたちに たくましくなってほしいと ねがったのです。

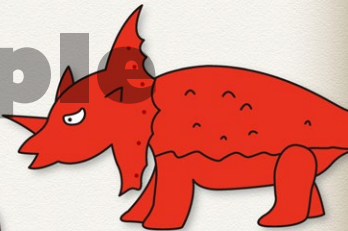
3びきの なまえは レッド・ブルー・グリーンです。



つりゅうの トリケラトプスの おかあさんは レッドを このなわばりの リーダーにしたいと かんがえました。
レッドが たまごから うまれる すこしまえのことです。
「はやく でておいで レッド。すこしでも はやいほうがいいわ。でてこれないのなら ママが だしてあげるわよ。」
そういうと たまごを コツコツと わりはじめました。
すると ひびわれた たまごの すきまから ちいさな レッドが かおをだしました。
「ママよ。レッド。たまごは こうやって わるのよ。」
おかあさんは たまごを ぜんぶ わって だしてあげました。
そのあとも レッドに たくさんのことを おしえてあげました。



sample



よろいりゅうの アンキロサウルスの おかあさんは ちいさな ブルーを きけんから まもるため
どうくつのなかで たまごを うみました。


ブルーが たまごから うまれる すこしまえのことです。

ブルーが たまごを コツコツ たたいて しようと がんばっていたとき おかあさんは いいました。


「ブルー。 そんなに あせらなくて だいじょうぶよ。 そとは きけんで いっぱいだから
まだ たまごのなかに いなさい。 ここが いちばん あんぜんなのよ。」

sample


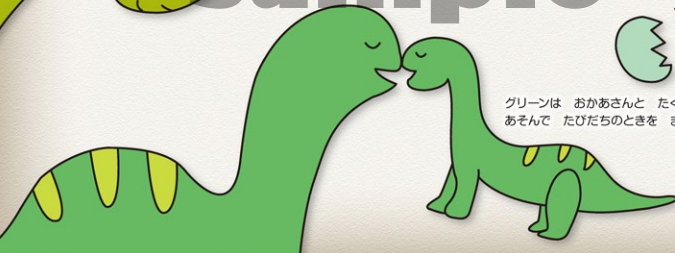




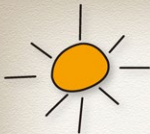
くびながりゅうの プラキオサウルスの おかあさんは グリーンが
たまごから でてくるのを くびを ながくして まちました。
くるひも くるひも くびを ながくして まっていました。
あるひ 「コツコツ バリッ。」



おとをたてて グリーンが かおを だしました。
おかあさんは 「ようこそ グリーン。まっていたわよ。」と グリーンのかおに
ほほを くっつけました。スリスリして とっても いいきもち。



グリーンは おかあさんと たくさん
あそんで たびだちのときを まちました。



いよいよ たびだちの あさです。
レッドのおかあさんは てきから つよくみられるように
かんむりを あたまに のせてあげました。
ブルーのおかあさんは てきの こうげきから ブルーを まもるよう
よろいを きせてあげました。
グリーンのおかあさんは「グリーン あなたなら
だいじょうぶよ。まっているからね。」と
グリーンの ほほに かおを くっつけました。



「さあ しゅっぱつだ。ほくは なんでも
しているから ほくに ついてこれば
まちがいないよ。」レッドが いいました。
ブルーと グリーンは レッドのあとに つづきました。

しばらく あるくと みずうみが みえてきました。

「あっ。あれが みずうみなんだね。ほく のどが カラカラだよ。おみずが のみたいよ。」
ブルーが いいました。

「ダメダメ。あそこは エラスモサウルスの なわばりで おっこちたら たいへんだ。いっては いけないよ。」
レッドが じまんげに いいました。

「だいじょうぶさ。ほく おみず のんだことあるんだ。ほくに ついてきて。」

グリーンのとりに レッドと ブルーが ついていきました。

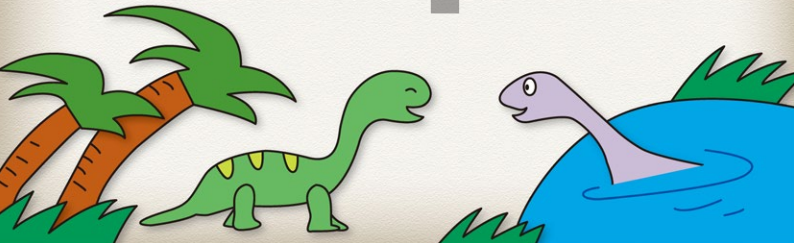
みずうみのほとりに みずを のんでいると エラスモサウルスが かおを だしました。

「やあ グリーン。きょうは おかあさんと いっしょじゃないのかね。」と したしげに はなしかけてきました。

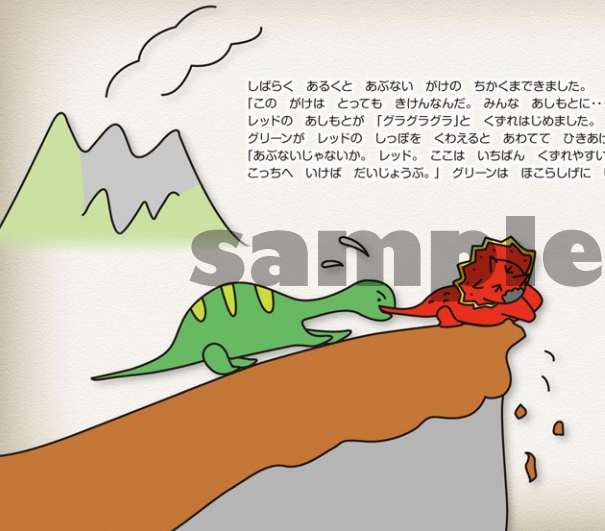
「きょうは あのもりへ いくんだ。」

「そうか たのしんでこいよ。」と みずうみの なかへ もくっていきました。

sample

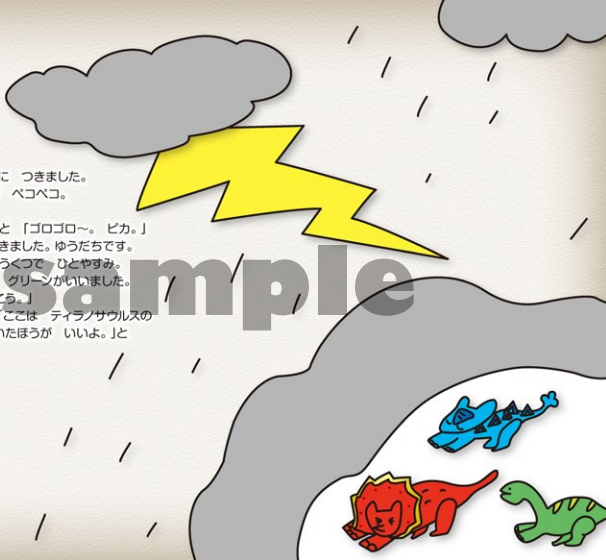


しばらく あるくと あぶない がけの ちかくまできました。
「この がけは とっても きけんなんだ。みんな あしもとに…」と いいかけた とたん
レッドの あしもとが 「グラグラグラ」と くすれはじめました。
グリーンが レッドの しっぽを くわえると あわてて ひきあげました。
「あぶないじゃないか。レッド。ここは いちばん くすれやすい ところなんだから…
こっちへ いけば だいじょうぶ。」 グリーンは ほこらしげに いいました。



しばらく あるくと もりに つきました。
あるきつかれて おながが ペコペコ。

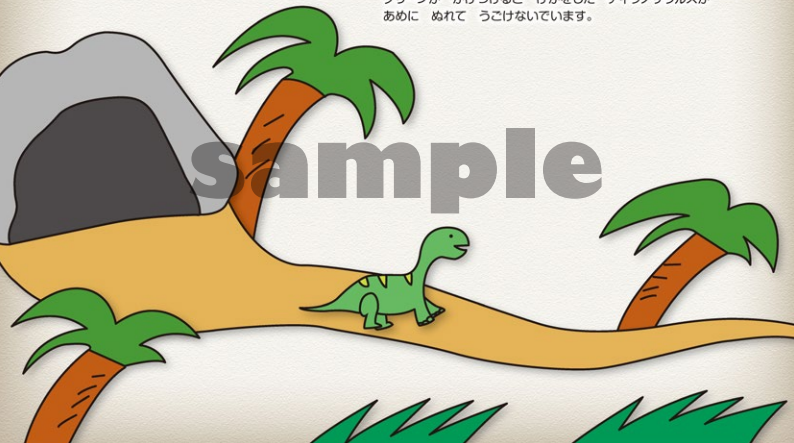
たべものを さがしていると「ゴロゴロ～。ピカ。」
はげしい あめが ふってきました。ゆうだちです。
さんびきは ちかくの どうくつで ひとやすみ。
あめが よわまってくると グリーンがいました。
「たべものを みつけにいこう。」
でも ブルーとレッドは「ここは ティラノサウルスの
なわばりなんだ。ここにいたほうが いいよ。」と
うごきません。





あめが やむと グリーンは たべものをさがしに きました。
すると とおくて なにかが うなっている こえが きこえます。
グリーンが かけつけると けがをした ティラノサウルスが
あめに ぬれて うごけないでいます。

sample



「だいじょうぶかい？ いま たすけてあげるよ。」と グリーンは ティラノサウルスをおぶって みんなの まつ どうくつへ つれていきました。



ティラノサウルスは グリーンに たべもののありかを おしえてくれました。
さんびきは たべものを さがしに でかけました。
ティラノサウルスのいったとおり みどりの はっぱが しげっています。
そして じめんには きのみが たくさん おちています。
みんな おなかいっぱいになるまで たべました。





きがつくと もう おつきさまが かおを だしています。
つきあかりのしたで さんびきは よこになりました。しずかな よるです。

レッドがいました。「きょうは たずけてくれて ありがとう。ほくは なんでも しているのに
なんの やくにも たたなかったよ。」

ブルーがいました。「おみずの のみかた おしえてくれて ありがとう。ほく もう じぶんで のめるよ。」

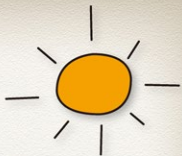
グリーンが おつきさまを みながら いました。

「ほく レッドとブルーと たびが できて ほんとに よかった。だって なかまが できたんだから。」

sample

さんびきは なんだか やさしくて
うれしいきもちになり ねむりにつきました。





あさです。
たいようの まぶしい ひかりで めがさめました。
さんびきは かんがえています。
「なわぼりって なんだろう… ほくたち そろそろ かえろうよ。」

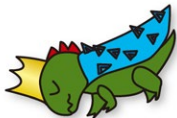
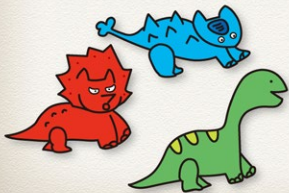
sample



さんびきは もりを おさんぼしながら かえることに しました。
きのう きたみちを もどっていくと まだ よこたわっている ティラノサウルスが いました。
「どうだい？ たびは たのしかったかい？」 くるしそくに ティラノサウルスが ききました。

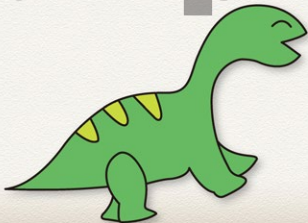
「ああ。とつても。ぼくたち なかまだから。きみもね。」 グリーンがいうと
レッドとブルーは みにつけていた かんむりと よろいを よわっている ティラノサウルスに つけてあげました。
「ケガが なおったら ぬぐといいよ。きみは きょうりゅうのなかで いちばんつよい ティラノサウルスだろ。
きみには ひつようないからさ。」 レッドがいいました。

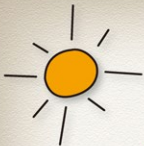
sample



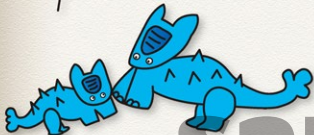
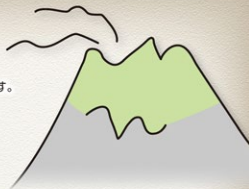
しばらく あるくと とおくに あおい おはなを つけました。
グリーンは あわてて かけより おはなを つみました。
かえりみちは おかあさんに あえる おもいで いっぱい。みんな わくわくしています。

sample



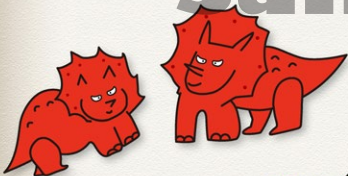


とおくから「おかえりー。」と なつかしい こえが きこえます。
さんびきは おかあさんの もとへ はしていきました。



レッドが おかあさんに いいました。
「かんむりは きのだに ひっかかって おとしちゃった。」
ブルーは「よろいは おもたくて めいてきちゃった。」
グリーンは「おかあさんの いうとおり せかいは なかまで
いっぱいだったよ。」と にぎりしめていた あおい おはなを わたしました。

おしまい



いしだえほん No.0024

さんびきのきょうりゅう

2018年1月10日 初版発行

文・イラスト 小池三千世

印刷・製本・発行 石田製本株式会社
〒063-0836 北海道札幌市西区発寒16条14丁目3-31
TEL 011-676-4520
<http://i-bb.co.jp/>

©2018 Michiyo Koike / Ishida Bookbinding

sample

※本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。

また、本書を代行業者などの第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

落丁・乱丁はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

ISBN978-4-909377-23-4

石田製本の直販サイト「いしだえほん」にて、
シリアスな物からシュールな物まで、楽しい絵本が続々発売中です！
<http://p-books.jp/ehon/>

ISBN978-4-909377-23-4
C8771 ¥1200E

定価：本体1,200円+税



9784909377234



1928771012000

